

介護保険負担限度額認定申請書

記入例

年 月 日

館林市長 様

次のとおり関係書類を添えて、食費・居

申請書の表面についてはパソコン等での記入でも受け付け

認定を申請します。

フリガナ	カイゴ タロウ	介護保険	
被保険者氏名	介護 太郎	被保険者番号	〇 〇 〇 〇 〇 9 9 9 9 9
生年月日	明・大(昭) 3年 1月 1日	個人番号	
住所	〒 374-8501 館林市城町1-1 電話番号 0276-72-4111		
介護保険施設の所在地及び名称※	〒 電話番号		
入所(院)年月日※	年 月 日 ※介護保険施設に入所(院)していない場合及びショートステイを利用している場合には、記入不要です。		

配偶者の有無	有 ・ 無	左記において「無」の場合、以下の「配偶者に関する事項」については記載不要です。
配偶者に関する事項	フリガナ	カイゴ ハナコ
	氏名	介護 花子
	生年月日	明・大(昭) 3年 2月 10日
	住所	〒 374-8501 館林市城町1-1 電話番号 0276-72-4111
	本年1月1日現在の住所(現住所と異なる場合)	〒
課税状況	市町村民税 課税 ・ (非課税)	(〇で囲んでください)

収入等に 関する 申告	<input type="checkbox"/> 1	生活保護受給者／市町村民税世帯非課税である高齢福祉年金受給者	預貯金等の 基準額	1,000万円以下 (夫婦は2,000万円以下)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 2	市町村民税世帯非課税であって、課税年金収入額とその他の合計所得金額と非課税年金(遺族年金・障害年金)収入額の合計額が年額80.9万円以下です。		650万円以下 (夫婦は1,650万円以下)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 3-2	市町村民税世帯非課税であって、課税年金収入額とその他の合計所得金額と非課税年金(遺族年金・障害年金)収入額の合計額が年額120万円を超えます。		550万円以下 (夫婦は1,550万円以下)		
預貯金等に関する申告	<input checked="" type="checkbox"/>	預貯金、有価証券等の金額の合計は基準額以下です。 ※預貯金、有価証券にかかる通帳等の写しは別添のとおり				
	預貯金額	〇〇〇, 〇〇〇 円	有価証券(評価概算額)	円	その他(現金・負債含む)	円

* 遺族年金、障害年金、母子年金、遺児年金を含みます。

全ての通帳、定期を合計した金額について記載は不要です。

申請者	介護 一郎	連絡先(自宅・勤務先)	090-XXXX-XXXX
申請者住所	館林市城町1-1	本人との関係	長男

注意事項

- (1) この申請書における「配偶者」については、世帯分離をしている配偶者又は内縁関係の者を含みます。
- (2) 預貯金等については、同じ種類の預貯金等を複数保有している場合は、そのすべてを記入し、通帳等の写しを添付してください。
- (3) 書き切れない場合は、余白に記入するか又は別紙に記入の上、添付してください。
- (4) 虚偽の申告により、不正に特定入所者サービス費等の支給を受けた場合には、介護保険法第22条第1項の規定に基づき、支給された額および最大2倍の加算金を返還していただくことがあります。

※裏面の同意書の記入も忘れずをお願いいたします。

市役所確認欄

交付年月日	年 月 日	適用年月日	年 月 日	有効期限	年 月 日
備考	送付先： 自宅 ・ 送付先 ・ 施設				

同意書

同意書に関する部分の記入は原則『自署』となります

館林市長 様

介護保険負担限度額認定のために必要があるときは、官公署、年金保険者または銀行、信託会社その他の機関（以下「銀行等」という。）に私及び配偶者（内縁関係の者を含む。以下同じ。）の課税状況及び保有する預貯金ならびに有価証券等の残高について、報告を求めることに同意します。

また、館林市長の報告要求に対し、銀行等が報告することについて、私及び私の配偶者が同意している旨を銀行等に伝えて構いません。

令和 7年 7月 7日

<本人>

住 所 館林市城町1-1

氏 名 介護 太郎

本人の自署（手書き）
（代筆者が記入する場合は代筆者の身分証明書
の提示が必要となります）

<配偶者>

住 所 館林市城町1-1

氏 名 介護 花子

配偶者の自署（手書き）
（代筆者が記入する場合は代筆者の身分証明書
の提示が必要となります）

